

日本海洋科学振興財団 海外渡航費用援助 報告書

2024年 3月 16日

氏名	深澤 徹	
所属機関	機関名 (大学院生は大学院と研究科名まで)	新潟大学大学院自然科学研究科
	職名 (学生は学年)	博士後期課程3年
渡航期間	2024年 2月 17日 ~ 2024年 2月 23日	
渡航先	アメリカ・ニューオーリンズ	
渡航目的とその成果、感想	<p>このたび、日本海洋科学振興財団より海外渡航援助を賜り、2024年2月17日から23日までアメリカ・ニューオーリンズにて開催されたOcean Sciences Meeting 2024に参加致しました。私はCT-002 Geochemical Tracers of Ocean Processesのセッションにおいて、東部インド洋における海水中溶存Te(IV)とTe(VI)の分布をDetermination of dissolved Te(IV) and Te(VI) in the eastern Indian Oceanと題し、ポスター発表を行いました。テルルは海水中にTe(IV)およびTe(VI)の異なる酸化数で存在し、その濃度はどちらも2 pmol/kg以下と極めて低いと、海洋における物質循環像が不明な元素とされてきました。我々は、Te(IV)およびTe(VI)の精確な定量分析法を確立し、東部インド洋における海水中Te(IV)およびTe(VI)の南北断面分布を初めて解明しました。発表は、幸運にも複数の研究者の方々に話を聞いていただける機会があり、分析法の基礎的な原理から海水中での酸化還元反応など、収穫の多い充実した時間を過ごすことができました。自分の発表時間以外にも、同世代の方々とコミュニケーションを取れる機会があり、モチベーションを高める上でこれ以上ない刺激となりました。また、Teと同様海水中において複数の酸化数を有する微量元素の研究を中心としたセッションは興味深く、自分の研究に活かせる部分を多く発見することができました。研究者の方々から頂いたアドバイスや考え方を自身の糧として、また、この交流や繋がりを大切に今後も研究に邁進していきたいと思いました。ご支援いただいた日本海洋科学振興財団の皆様にご心より御礼申し上げます。</p>	